



鈴木 めぐみ（輝）

### コロナ禍における出生数の減少の影響は



**問**／新型コロナウイルス感染拡大の影響により、世界規模で出生数が減少すると予測されているが、当市の人口推移及び政策への影響はどうか。

**答**／現時点ではコロナ禍による人口推移への影響を見通すことは難しい。影響が長期化した場合、若者の収入や雇用への不安が少子化の加速要因になり得ると認識しており、地域経済の回復・活性化に全力で取り組んでいきたい。

### コロナ禍における子育て世帯への支援は

**問**／国の特別定額給付金の対象外となった令和2年4月28日以降に生まれた新生児に対し、給付金を支給すべきと考えるがどうか。また、コロナ禍でも頑張っている子育て世帯にどのような支援を行っているのか。さらに、今後も支援を行う必要があると考えるがどうか。

**答**／本制度は国の制度設計によるものであるため、令和2年4月28日以降に生まれた新生児は対象にならない。なお、市では、各家庭の生活困窮の状況に応じた支援が有効と考え、ひとり親世帯を市独自に支援した。子育て世帯に対し、「上越市子ども・子育て支援総合計画」に基づいた施策を推進しており、今後も必要な支援を講じ、コロナ禍でも安心して子育てができる環境づくりに向け、鋭意努めていく。



田中 聡（輝）

### 木田庁舎再編の方針は



**問**／令和3年度に予定されている市の庁舎再編のスケジュール等はどうか。

**答**／令和2年秋にガス水道局が新庁舎へ移転後、現在のガス水道局庁舎を改修し、令和3年夏以降、順次移転作業を行い、令和3年の秋には新たな配置で供用を開始したい。

**問**／木田第1庁舎と現ガス水道局庁舎との間の移動における安全確保に関する考えを聞きたい。

**答**／現ガス水道局庁舎前には、屋根付きスロープ及びおもしろい駐車を整備するとともに新たに横断歩道を設置する予定としている。

**問**／将来に向けた庁舎整備基金の創設の考えはないか聞きたい。

**答**／財政負担の平準化を図るためには、庁舎整備基金の設置を検討する必要があると考えるが、目標使用期限までに35年程度の期間があることから、早急に基金を設置する考えはない。

### 台風被害の未然防止で重要インフラを守る

**問**／近年の度重なる台風被害では、倒木による交通への支障や停電が長期化するケースが目撃されている。重要インフラ周辺の森林整備についてどのように考えているか。

**答**／重要インフラの管理者が実施する被害防止の取組に際し、連携を図っていく考えである。



栗田 英明（輝）

### コロナ禍による各種計画への影響は



**問**／今般の新型コロナウイルス禍による事業執行への支障の実態を聞きたい。

**答**／観桜会等のイベントの中止や延期のほか、介護相談員による訪問活動の自粛、医療センター病院の経営改善の検証における遅れなど各分野で事業執行に一定の影響が出ている。

**問**／各種基本計画には目標があり、進捗管理されている。常に情勢を把握し、的確な目標を設定しながら行政運営をしていくためには、早急に全ての基本計画をチェックし、必要な見直しをすべきと思うがどうか。

**答**／それらを大幅に見直すことはしないが、事業実施の際には、より効果的な成果が得られるよう工夫や改善を加えていく。

### 第6次総合計画の見直しは

**問**／上越市第6次総合計画も昨年度から後期に入った。7つの分野別政策や施策を分野横断的に、重点的に推進していく戦略目標を「暮らし」「産業」「交流」としている。このコロナ禍で、その3つは大きな打撃を受けたのではないか。

**答**／第6次総合計画も影響を受けたことは確かであるが、「すこやかなまち」という将来都市像をはじめ計画そのものを変更していくつもりはない。ただ、目標の達成状況は分析し、必要な予算の提案などの形で議会にも示していきたい。